

world skills
Shizuoka2007

Gokigen!
NUMAZU

11月、本市で技能五輪国際大会開催! あと105日

広報

沼津

<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

8月1日号

2007年(平成19年)
No.1327

特集

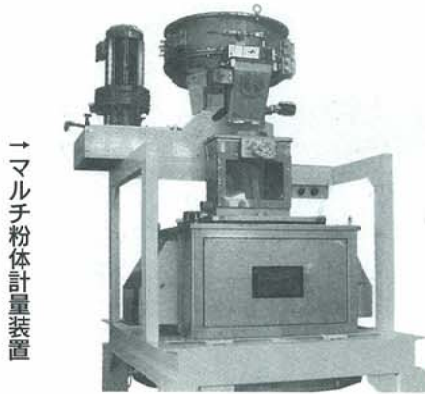
世界に羽ばたく 沼津の技術

表紙 国内唯一の固定式音響計測船 『SEATEC II』 (内浦三津)

お金は 沼津産！



紙幣を製作する際の重要な要素の一つに「偽造することが出来ない」ということがあります。そのため、「すかし」や「コピー防止機能」など、様々な技術が凝縮されていますが、インクにも特殊な細工が施されています。紙幣の微妙な模様の色をつくるためには、市販されているインクではなく、色



→マルチ粉体計量装置

をつくりだす過程で多くのインクの元となる粉を厳密な分量で調合した特殊インクが必要になります。高度な技術が求められるため、世界のほとんどの国では、未だこの作業を手作業で行うことが出来ません。世界で初めて、正確にインクの元となる粉を自動で計量出来るようにしたのが、なんと市内東椎路の赤武エンジニアリング(株)です。この世界初の「マルチ粉体計量装置」は、財務省に納められ、私たちが、毎日利用する紙幣の製作に活躍しています。時代の最先端をいくこの技術に感動を覚えます。

あなたの携帯 沼津生まれ？



※写真は、イメージです。

皆さんが使っているほとんどの携帯電話には、リチウムイオン電池が使用されています。日本のリチウムイオン電池の性能は、世界でもナンバーワンと言われていています。電池の性能は、心臓部と言われる正極と負極の電極に大きく左右されますが、より高い精度の電池にするためには、この電極のカーボンの量が正確であることが重要となります。それを極めて正確に計量する装置を開発・製造しているのが、赤武エンジニアリング(株)です。その技術が使われている携帯電話の電池の日本でのシェアは、約50%というから驚きです。あなたの使っている携帯電話にも沼津の技術が使われているかもしれませんね。そう思うと、今まで以上に自分の携帯電話に愛着が持てるのではないのでしょうか。